



デメテル Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.41

Newsletter of Gunma Museum of Natural History 2008.冬・春

デメテルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。

全国都市緑化ぐんまフェア協賛

第29回企画展「100年の標本が語るぐんまの植物」

2008年 3月15日(土)~5月6日(火)



左:かつて水草の楽園だった多々良沼(撮影2007年) 右上:絶滅種・タカノホシクサ 右下:標本庫に整理・保管された植物標本

群馬県立自然史博物館には1895年以降、約100年間に採集された植物標本が約40,000点整理され、データベース化されています。これらの標本から、現在都市化が進んだ場所のかつての環境が再現できます。本企画展では、県都前橋とかつて水草の楽園といわれた館林を中心に、昔の自然環境を想像していただくような展示を行います。

標本は、環境変化による在来種の減少や、外来種の侵入などによる生物の分布の変化を議論する場合や、生物の分類学上の再検討を行う場合などには、重要な物的資料として必要とされます。企画展では、このように重要な標本をどのように作成し、整

理・保存するかということも紹介しますので、多くの方が標本づくりに関心を持っていただきたいと思います。

(学芸グループ 大森 威宏)

一企画展記念事業『まちかど植物観察会』一

日時:平成20年4月27日(日)10:00~12:00

内容:高崎市役所周辺の植物を観察します。

申込方法:2週間前までに封書で申し込む。

観察会テーマ、参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を記入した紙と80円切手をはった返信用封筒を同封。

定員:30人(応募者多数の場合は抽選)

参加費:50円(保険料)

「先生のための自然史博物館活用ネットワーク」の活動と会員募集のお知らせ

自然史博物館では、小・中学校、高等学校、特別支援学校の先生方等に博物館を有効に活用していただくことを目的として、平成19年4月に「先生のための自然史博物館活用ネットワーク」を組織しました。

平成19年度は、「授業で使える博物館情報」を整備して博物館のホームページで紹介したり、夏季休業中に実技研修会を行ったりしました。【第2回実技研修会は2月17日(日)に実施予定】

「授業で使える博物館情報」を見ると、教科・学年・単元における博物館の効果的な活用方法がわかるので、博物館の資料や人材を授業で活かしやすくなります。この情報を見て、動物頭骨標本や天体望遠鏡、レプリカ作成セット等の教育用貸出資料を借りる先生や、講師派遣を希望する学校などがありました。

実技研修会は、研修内容を掲示板「みんなのひろば」で検討し、「液体窒素研修」「電子顕微鏡研修～ミクロの世界～」を行いました。14名の先生が参加し、意見を交換し合いながら、授業に役立つ方法等について追究しました。

博物館の資料や人材は、理科だけでなく総合的な学習の時間や保健指導など、様々な教育活動に活用することができます。会員と博物館とのつながりや会員同士のつながりをつくり、学校教育のために自然史博物館をより有効に活用してみたいはいかがでしょうか。

(総務普及グループ 武井 郁也)



動物頭骨標本を活用しての学級活動(吉井町立馬庭小学校)



実技研修会の様子(電子顕微鏡研修)

—先生のための自然史博物館活用ネットワーク会員募集のお知らせ—

会員になると▶▶▶

- ① 群馬県立自然史博物館のホームページの更新情報等を電子メールでお知らせします。

博物館では、学校連携事業として体験学習の実施・教育用資料の貸出・講師派遣等を行っています。これらの情報をホームページ上で紹介するとともに、具体的な活用事例を紹介していきます。

- ② 会員限定のホームページ上掲示板「みんなのひろば」で会員相互の意見交換が行えます。

理科の授業や総合的な学習の時間を進める時に「何かよいアイデアはないでしょうか?」「私は、こんな工夫をしてみました…」など、会員相互の交流の場ともなり、授業に役立つヒントが得られます。

- ③ 授業に役立つ実技研修会に参加できます。

博物館では、会員を対象とした教職員のための実技研修会を夏季休業中等に行います。

□□□ 申込方法 □□□

自然史博物館ホームページから申込書を印刷し、必要事項を記入の上、ファックスまたは電子メールにてお申し込みください。後日、会員番号を電子メールにて送信します。

収蔵資料より オオバメドハギ

今回は少々ややこしい話を。オオバメドハギは河原によく見られるメドハギの仲間です。群馬県内では、前橋市に生育していると「群馬県植物誌」に記載されています。しかし、1999年に石巻専修大の根本智行氏により、この記録も含め日本国内のオオバメドハギは別の植物であり、オオバメドハギは日本にはない、中国の植物とされました。ところが、数年前から西日本の緑化工事を行った場所でオオバメドハギが見られるようになりました。そして2007年、群馬県でも安中市内でオオバメドハギが採集されました。今度こそは真正銘？中国原産のオオバメドハギでした。同時に採集されたトウクサハギとともに、群馬県初記録です。

(学芸グループ 大森 威宏)



オオバメドハギ

インフォメーション (2月~5月の予定)

第29回企画展 **「100年の標本が語るぐんまの植物」** (全国都市緑化ぐんまフェア協賛)
2008年 3月15日(土)~5月6日(火)

2月 9日(土) 天体観望会「冬の星座と星雲・星団の観察」
10日(日) 自然史講座「植物標本はタイムカプセル~おし葉からわかるむかしの自然環境~」
25日(月)~29日(金) 資料整理休館
毎週土曜日 サイエンス・サタデー「カマラサウルスの歯のレプリカをつくろう」

3月 15日(土)~5月6日(火)
第29回企画展「100年の標本が語るぐんまの植物」
毎週土曜日 サイエンス・サタデー「岩石や鉱物の不思議実験」

4月 27日(日) ファミリー自然観察会「まちかど植物観察会」
毎週土曜日 サイエンス・サタデー「ツバメ型グライダーをつくろう」

5月 11日(日) ファミリー自然観察会「地質の宝庫：下仁田探検」
23日(金)~25日(日) 移動博物館(会場:みどり市東公民館)
毎週土曜日 サイエンス・サタデー「砂と火山灰を観察しよう」

利用案内

■開館時間 午前9:30~午後5:00(入館は午後4:30まで)

■休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

■観覧料

	一般	高校・大学生
常設展のみ開催	500円	300円
企画展開催時	600円	300円

※中学生以下、身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及びその介護者1名は無料
※有料者20名以上は団体料金で2割引となります

■凡例

- ☎ 電話で申込(1ヶ月前から)
- ✉ 封書で申込(2週間前までに)
- 📍 当日会場で申込



休館日

○印の日は休館いたします。

2月

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	・	1	2
3	④	5	6	7	8	9
10	11	⑫	13	14	15	16
17	⑱	19	20	21	22	23
24	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕

3月

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	・	・	1	・
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑰	18	19	20	21	22
23	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
30	⑳	・	・	・	・	・

4月

日	月	火	水	木	金	土
・	・	1	2	3	4	5
6	⑦	8	9	10	11	12
13	⑭	15	16	17	18	19
20	⑰	22	23	24	25	26
27	⑱	29	30	・	・	・

5月

日	月	火	水	木	金	土
・	・	・	1	2	3	・
4	5	6	⑦	8	9	10
11	⑫	13	14	15	16	17
18	⑱	20	21	22	23	24
25	⑳	27	28	29	30	31

群馬県立自然史博物館だより Demeter No.41

編集・発行 群馬県立自然史博物館 〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1
Tel.0274-60-1200 Fax.0274-60-1250
ホームページ <http://www.gmnh.pref.gunma.jp/>

Demeterは、地球環境保全のため
古紙配合100%再生紙、大豆インクを使用しています。